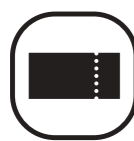




てんじしつ はいかた  
展示室への入り方



これから、資料を見に 展示室へ 行きましょう！  
 展示室は、「企画展示室」と「常設展示室」があります。  
 それぞれ、入口が 分かれています。



入口にいるスタッフに チケットを見せてから、入ります。

食べものや 飲みものを

展示室に持ちこむと、

資料をぬらしたり、汚すかもしれないため、

そのままでは 持ちこみません。

必ずかばんの中か ロッカーにしまいます。



てんじしつ  
展示室



(2階)



展示室では、高知ゆかりの文学者の書いた本や 直筆の原稿、  
 使っていたものなど、たくさんの資料を 見ることができます。  
 わたしが 好きなタイミングで 気になったものを見ます。

てんじしつ なか しりょう み  
展示室の中で 資料を見るとき



てんじしつ なか ひと  
展示室の中は、たくさんの方が いることも あります。

ひと しりょう よ ひかり  
また、人にも 資料にも ちょうど良い光にするために、

すこ くら  
少し暗いところも あります。

まわ ひと しりょう  
わたしは、周りの人や資料などにぶつからないように

ある  
ゆっくり歩きます。



はな ちい こえ はな  
話すときは、小さな声で 話します。

しりょう まも しゃしん と  
資料を 守るため、写真は 撮りません。



はくぶつかん しりょう たいせつ  
博物館にある資料は、とても大切なものです。

よごれたり、こわれないように 資料には 触りません。

しりょう はい  
資料が「ガラスのケース」に入っているときや

だい うえ お  
「台」の上に 置かれているときは、

しゃしん だい さわ み  
写真のように ガラスのケースや 台に触らないで、見ます。